

令和4年第9回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和4年9月27日(火)
開 会 9時55分
閉 会 10時45分
場 所 仁多庁舎 2階 202会議室
出席委員 福田充雄教育委員 谷尻教育委員 荒金教育委員 高橋教育委員
委員会事務局 石原教育魅力課長、高尾学校再編推進課長
岸本教育魅力課課長補佐、安部学校再編推進課長補佐

教育長

勝田町長が退任し、糸原町長が就任した。仁多域の統合小学校の建設地について、町長として建設地をどちらにするか、明確な意思を述べたわけではないが、教育委員の意見やこれまでの経緯を確認したいという事で、会談の機会を設定している。教育委員には、これまでの考え、そして、今考えていることについて述べて欲しいと思っている。

小中学校について、2学期が始まり、その頭のところで修学旅行を予定していた。横田域の小学校は予定通りに実施、仁多域の小学校ではコロナの関係で、大事を取って10月に繰り延べをしている。中学校については、両校とも関西方面への修学旅行を実施している。例年では、京都で公共交通機関を利用した班別行動を行っていたが、今年はタクシーを利用した班もあった。観光地巡りは出来なかったようだが、子供や保護者は大変喜んでいるという報告を受けている。

コロナウイルス関連の現状について、昨日今日の所では、一部学級閉鎖している。この学級閉鎖は、感染者数が多いわけではなく、大事を取ってという形。他の学校でも先週までのところで万が一のことを考えて一部学級閉鎖を行っている。

保健所による抗原検査が無くなった。合わせて、家族内で感染者が発生した場合も特に濃厚接触者の指定や検査も実施されない。そのような現状、そして感染状況を踏まえ、学級閉鎖等の判断は各学校の判断に任せている。

昨日からコロナ感染者の全数把握が無くなった。また、今まで10日だった自宅待機期間が1週間程度に変わっている。その旨の文章を教育委員会として発送している。今後コロナの感染者数はもう少しずつ増えてくる可能性はあると思っている。

参加者4名

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 谷尻委員

これより議事に入る。

	<p>令和4年度全国学力・学習状況調査結果について</p>
事務局	<p>※資料で説明</p>
教育長	<p>質疑等はあるか。</p>
荒金委員	<p>総じていい結果だと思っている。ジャンルによって差がみられるが、これは昨年、コロナによって学校が休校等になった関係でその期間の単元が手薄になった等の理由があると勝手に想像している。全国的に休校等の関係で子供たちが持っている力自体が下がったのかどうか知りたい。</p>
事務局	<p>コロナの影響で休校した学校は多々あったが、その間の単元を積み残して次の学年に上がったという事は学校としてないとは思っている。休校等で授業数が減ったところが幾分か影響をしていると思うが、どの程度影響を及ぼしているかは分からない。</p>
荒金委員	<p>影響があったか、なかったかという事は分からないという事か。だが、みんな頑張っていることが分かり、とても嬉しく思っている。</p>
教育長	<p>コロナの影響について国自体が報告を出していないが、本町の場合、昨年度、今年度共に学級閉鎖等をあまり行っていなかったため、大きな影響はなかったと思っている。</p> <p>町に提供されるデータは、国の平均値、県の平均値、町の平均値。町については、各学校の数字が全て提供される。このデータについて言うと、学年によって差がある。平成20何年くらいまでのデータを見ると複式学級の結果がかなり悪い状況があったり、ここ数年では、すべてではないが、複式学級がかなり良い状況だったりしている。今年度については、複式学級で非常に悪いところが出ている。規模が小さくなるにしたがって個人の点数が全体の点数に影響する。そのため、今年の子ども達がかかなり頑張っているという見方もできるし、その学年が非常に頑張ったという見方もある。そのため、両方に見方をしていかないといけない。</p> <p>各学校の校長には、人数が少なければ個人的な事も見て欲しいと伝えている。やはり、授業の中で変えていくしかない。今年度についても町内の教員が授業を見る機会や対面での研修の機会が非常に減っており、長い目で見るとこれが今後大きな影響を及ぼすのではないかと心配をしている。</p>
	<p>その他、横田地域学校再編統合推進委員会の状況について</p>
事務局	<p>横田地域統合小学校について、7月21日に第1回目の学校再編統合推進委員会の全体会を開催。推進委員のメンバーは、小学校のPTAや幼稚園の保護者、地域の住民や学校関係者、学識経験者等からの代表者。今日まで3つの部会を開催した。</p>

【総合部会】

9月8日に開催。総務部会は、学校名、校歌、校章、記念行事等に関することを協議する。第1回目は学校名、校章、校歌をどのように決定するか議論した。

○決定事項

・学校名

応募形式。応募資格は、横田地域在住の方。募集期間は、今年12月から来年1月にかけての1か月間。11月に全体会を開催する予定にしており、そこで全体に諮ってから募集を行う予定。応募条件は、1人1点まで。選考は、令和5年4月を予定。

・校章

応募形式。応募資格は、横田地域在住の方と横田地域に通学通勤している方、横田高校の美術部やデザイン学校の生徒等。また、横田地域出身でデザイナーなどの仕事をしている方もいる可能性もあり、そのような方も含めて応募対象に決定した。募集期間は、来年7月から8月の1か月間の予定。応募条件は、1人1点まで。選考は、令和5年10月の予定。

・校歌

応募形式。応募資格、応募期間は校章と同様。応募条件は、1人3点。言葉やフレーズ等を募集するという事で決定。

式典行事については、今後検討するという事になった。

次回開催予定は10月6日木曜日。

【PTA 部会】

9月15日に開催。PTA 部会は、PTA の組織・運営、制服等の服装・体操服に関することを協議する。第1回目は、制服等の服装・体操服をどのように決定するか協議した。

○決定事項

・制服等の服装、体操服は、全員の意見を収集するためアンケートを実施。対象は、令和7年4月時点で統合小学校に通う予定の児童、園児がいる家庭（現在の小学校3年生、2年生、1年生、横田地域幼稚園に通う全ての園児のいる家庭）アンケートで最も多かった回答を採用するものではないという事を明記する。最終決定は、町長や教育長などの執行部で行う。回答期間は、12月第1週から3週にかけての2週間を予定。

○PTA 部会懸案事項

・統合前の学年の制服や体操服について。今後、議論をして決めていく予定。次回開催予定は、10月13日木曜日。

【通学部会】

9月22日に開催。子ども達が安全で安心して学校や児童クラブに通えるようにバスダイヤ、通学路、児童クラブについて全体の意見交換を行う。第1回目は、意見徴収、要望事項の聴取を行った。

○説明内容・要望・意見

・通学方法の目安、横田地域統合小学校から3キロ以内は徒歩通学。横田小学校区で該当する地区は、加食自治体、大市自治体、蔵屋自治体。八川小学校区で該当する地域は、川西自治体、古市自治体、土橋自治体が該当する予定であり、それらの自治会は徒歩で通学する予定。

・バスダイヤ、現在のダイヤに加えて、新たに16時便を新設予定。馬木線は通学に約1時間程度かかるため、トイレ休憩を設けて欲しいという要望があった。八川地区では、高校生中学生も乗車するため一番大きなバスでも対応できるのかという質問があった。バス停での乗降のサポーター等の配置をして欲しいとの要望があった。要望については、今後、どのような対応が出来るのか考えていきたい。

・通学路

各学校から毎年6月に通学路の危険箇所等の改善の要望が出てくるため、それに通学部会からの要望を合わせて出してもらう事に決定した。予算が伴う要望は、次年度、またはその次の年度の整備になる事もあるため、早めに要望を出して欲しい旨をお願いした。

・児童クラブ

各地区の児童クラブを利用する。八川地区については、横田地域統合小学校から3キロ以内の児童は徒歩で通学をして徒歩で児童クラブに通うのかという質問があった。これについては、対応する必要がある、該当する児童に対しては、徒歩通学3キロ以内の見直しが必要になって来るのではないかと考えている。現在の児童クラブは幼稚園を利用しているが、キャパが小さいため、今後、小学校の跡地利用も含めて考えていく必要があるという意見があった。様々な議論を重ね、子供たちが安全で安心して学校や児童クラブに通えるように様々な事を決定したいと考えている。

【学校部会】

9月29日に開催予定。令和5年度以降の交流合同学習について協議する予定。

各部会で第1回目を開催し、今後のスケジュール、大きな方針を決定している。その中で課題がいくつか出ており、今後、これについて検討をしていく形になると思っている。

教育長

福田委員	<p>新しい学校を作るにあたり、当然、学校としての課題があると思っている。このことについては、各学校の校長に洗い出しを依頼しているため、統合小学校の姿が見えてくるにしたがって、徐々に出てくると思っている。教育委員には助力をお願いしたい。質疑等はあるか。</p>
谷尻委員	<p>各々の意見が出るように配慮をお願いしたい。</p> <p>横田地域の統合小学校は着実に前に進んでいることが目に見えて分かる。仁多地域の事を考えると胸が痛むが、仁多地域の統合小学校は、横田地域の後を追って行けばいいと思うと少し気持ちが楽になる気がする。複雑な気持ちではあるが、横田地域の統合小学校の話が進んでいるのは嬉しい。</p>
教育長	<p>このような大規模な再編統合は初めての事であり、1つ1つ手探りで進めている状況。横田地域の統合小学校の話し合いで得られた知見と言うのは、仁多地域に必ず活かしていけるものだと思っている。様々な課題があるが、学校再編推進課が中心となって次のステップに向かって行く。</p>
谷尻委員	<p>統合される小学校の教職員が手助けを求めるならば助けに行く必要がある。何を助ければいいのか分からないが。このくらい話が進んでいると各学校も後始末も大変だろうという気がしている。</p>
教育長	<p>4月の段階で各学校から不要な備品が出てきたが、処分する予算がなく頭を痛めている。</p> <p>当然、教員の人員配置の問題が出てくる。10月11月から来年度の教職員の人事が始まるが、来年で閉校する予定になっている鳥上小学校、加えて児童が減る関係で教職員の数がギリギリになる。このままだと事務員、養護教諭の引き上げの可能性があり、これは阻止したい。そのため、再編前の加配という事で何とか事務員、養護教諭等を残す方向で動いて行くと考えている。これは最終的に県都の折衝になるため、出来るだけ今の子ども達、学校に迷惑が掛からないように動きたい。</p> <p>小学校統合後、各学校から少なくとも1名以上は教員が統合小学校へ異動できるように考えていきたいと思っている。</p> <p>先行的に統合する鳥上小学校はすでに行っているが、来年度から他の3校の交流学习が始まると思っている。</p> <p>教育委員には、今後、様々な事柄について尽力してもらう必要があると思っている。</p>
<p>< 次回定例会は10月19日（水）午後15時00分より（予定） ></p>	

会 議 録 署 名

署名委員

谷 尻 圭 子

教育長

松 田 武 彦